



B & G財団が主催する海洋体験セミナーが、8月21日から25日まで沖縄県で行われ、全国の小中学生102人が参加し、マリンスポーツや野外活動を体験しました。町からは、南条小6年加瀬彩乃さんと東陽小6年鈴木健司さんが参加しました。

大自然を舞台に マリンスポーツを体験

B & G海洋体験セミナー

沖縄での思い出



南条小6年 加瀬 彩乃

8月21日、楽しい体験ができると、とてもワクワクしていました。後の4日間ももっともといいたい思い出ができるのだろうかと思いましたが、

8時55分、羽田空港からの飛行機で出発しました。私は、飛行機に乗ったことがなかったのですが、飛行機に乗ったこともいい思い出になりました。沖縄では、「美ら海水族館」に行ったり、自然体験活動をしたり、とても勉強になりました。

1番思い出になったのは、マリンスポーツで、とても印象的でした。サバニという乗り物に13人くらいで乗り、みんなでこいで競争をして、1位になったのがうれしかったです。バナナボートもとても楽しかったです。

3日目はフェリーで伊江島に向かい、午前中は青少年旅行村という所に行き、飯盒炊飯、島豆腐、ゴーヤチャンプル作りなど、それぞれの担当に分かれて作りました。おいしかったです。午後になると、シュノーケリング、海洋性レクリエーション活動をしました。海水がとてもしょっぱくて目も痛くなってしまうました。しかし、シュノーケリング、バナナボートは最高でした。フェリーで本部港に戻り、バスでホテルまで



帰り、入浴してから自然体験活動について1時間くらい勉強しました。その後、夕べのつどいをし、消灯しました。

そして4日目、バスで国頭郡東村に行き、マングローブの森の観察に行きました。まず、カヌーに乗って水上から行く人と、遊歩道を通って陸上から行く人と2組に分かれました。

私は始め、カヌーに乗り水上から行きました。腕がとても疲れました。その後陸上から行くと、コメツキガニやトントンミーなどを見ることができました。

自然体験活動が終わると、「今夜台風がくる」といわれてびっくりしました。早めに帰ることになってしまっただけ、シュッピングもできましたし、友達もできて良かったです。夏休み最高の思い出になりました。

沖縄研修旅行に行つて



東陽小6年 鈴木 健司

待ちに待った沖縄に行く日が来た。羽田空港に着いたとき、想像していたよりも人が少なかった。飛行機に乗ると、とても中が広くておどろいた。そして、2時間程で那覇空港に着いた。バスに乗って「美ら海水族館」に行った。いろいろな魚を見たが、中でもすごかったのが、じんべいザメだった。その後、ホテルに向かった。初めて会う人ばかりだったので早く友達になろうと思った。そして部屋に行ったら特に心配することはなく友達ができた。愛媛県の5年生とても仲良くなつた。

2日目は、半浸水艇で海の中を見た。いろいろな生き物が見られてうれしかった。次に、カヌーやヨット、サバニなどに乗った。うまく進めなかつたけれどとても

も楽しかった。

3日目は、フェリーに乗って伊江島に渡った。行く途中でトビウオが飛んでいるのを見た。近くで見ると初めてだったのですね。と思った。着いてから昼食作りをした。僕は、「サーターアンギー」というおかしを作った。とてもおいしかった。その後、シュノーケリングと磯遊びをした。沖縄の海はあたたかくて気持ちよかったです。

4日目は、マングローブの森の観察をした。めずらしい生き物がいっぱい見られてよかった。マングローブの森は海水が交じっていても、生きていられる秘密がわかった。

その後、バードコートを作った。鳥と仲良くなれるというので、ぜひやってみようと思った。

ついに最終日、帰る日が来た。その日は台風の影響で首里城公園見学が中止になってしまった。

この体験はとてもいい思い出になりました。この経験を中学校生活に生かしていきたいと思います。お世話になった方々、ありがとうございました。